

『国際理解教育』Vol.24 論文募集のお知らせ

本誌掲載の「編集規定」及び「投稿規定」に即し、『国際理解教育』24号に掲載する論文を募集しています。事前投稿申し込みは行っておりません。投稿規定を確認の上、9月30日の投稿期限までに編集委員会事務局（投稿規定参照）へ投稿ください。

《24号特集「移動する子どもたちと国際理解教育」の主旨》

ブレグジット（イギリスのEU離脱）やトランプ米大統領の移民にかかわる種々の大統領令をきっかけに、あらためて移民・難民問題が注目されている。一方、日本においては、働く外国人の数が初めて100万人を超える状況となったが、かねてより指摘されてきている「移動する子どもたち」をめぐる課題は、今なお解決に至っているとは言い難い。グローバル化が進展し、「移動する子どもたち」の多様化も加速するなか、関連する課題はさらに累積し、複雑化していると言えるのではないか。そのような状況の中、あらためて「移動する子どもたち」をめぐる課題を検討し、解決に導くためにも、固有の目標と学習領域をもった国際理解教育の理念や実践が果たす役割は大きいと考えられる。

適応をはじめとした「移動する子どもたち」が抱える課題については、引き続き当事者の声に耳を傾け、人権の視点を重んじながら必要性に応える支援が求められている。マジョリティの意識の変容及びそのための教育実践・教材、定住外国人の国内移動、地域の取り組み、海外での移民・難民政策、トランスカルチュラル、国際教育政策、シティズンシップ教育、ヨーロッパンスクールなど、多様な視点からの取り組みが可

能だろう。

同時に、支援という一方向的な見方から離れ、「移動する子どもたち」の力を積極的に育てる、あるいは、そのような力を意識的に評価するあり方も必要である。彼らは、グローバルな視野、多様な価値観を尊重する力を持ち合わせている可能性も高い。移動しながらも学べる環境の整備も求められよう。

なお、「移動する子どもたち」は、出身地、在留の事情、居住地等多様な外国人の子どもたちを中核としつつも、国籍にとらわれず、広く文化的多様性を有する子どもたちを含み込む用語として提示する。「外国人」でなくても、類似の課題を抱えている子どもたちは存在するであろうし、「外国人」といっても、祖父母の代から日本に居住し、日本に生まれ育ったものから、一定期間滞在し帰国を想定しているものまでその実態は多様だからである。

本特集「移動する子どもたちと国際理解教育」では、会員からの多様な観点からの課題提起によって、彼らをめぐる様々な課題にあらためて光をあて、国際理解教育の視点から課題解決に向け考究することを目的とする。

国際理解教育 Vol.23

発行日 2017年6月20日 初版第1刷発行

編集 日本国際理解教育学会
発行 日本国際理解教育学会
JAPAN ASSOCIATION FOR INTERNATIONAL
EDUCATION
〒603-8577 京都府京都市北区等持院北町56-1
立命館大学産業社会学部 森田真樹研究室内
TEL 075-466-3173
FAX 075-466-3173
E-mail: jaie@st.ritsumei.ac.jp
<http://www.kokusairikai.com/>

発売 株式会社 明石書店
〒101-0021 東京都千代田区外神田6-9-5
TEL 03-5818-1171
FAX 03-5818-1174
振替 00100-7-24505
<http://www.akashi.co.jp/>
装丁 明石書店デザイン室
印刷／製本 モリモト印刷株式会社
ISBN978-4-7503-4526-0

JCOPY (社) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本書の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に、(社) 出版者著作権管理機構 (電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp) の許諾を得てください。